

意味を考える？意味を考えない？

2022・2・14 校長 重枝一郎

みなさんは、何か習慣のような行動実践がありますか？私は、このようなおたよりを書く習慣があります。11月だったかな、ある中2の生徒が、「お母さんが、“この人、いいこと書くねえ”と言っていましたよ」と私に話しかけてくれました。“この人”というのは私のことで、“いいこと書くねえ”というのはこのおたよりのことだと伝わりました。とてもうれしく思いました。(笑・ありがとう)

このようなおたよりを書く習慣を始めたのは、教員1年目からです。時に学級だより、時に学年だより、時に部活動だより、時に生徒指導だより、今は、「Sense of Mission」,「校長研修だより」とこの「校長講話」(3つとも学校HPにすべてアップしています)になります。形こそ変え、書き続けてもう数十年になります。ところが、これを続けることに意味があるかどうかを私は考えることはしませんでした。時に人からこの実践の意味を問われましたが、ある時から、私は、おたよりを書く意味を考えるのをやめました。そのうちに、意味を考えないといくつかいいことがあることに気づいたからです。

一つは、気持ちが楽になるということです。

たとえば、以前「生きる意味」について考えたことがあります。わかったことは、意味があってもなくても、自分は生きているということだけでした。そこで、「生きる意味」を考えるのをやめ、生きることに集中してみました。そうすると、不思議なことに楽な気持ちで全力を出し切れるようになりました。

もう一ついいことがあります。それは長く続けることができることです。

意味を考えていると、こんなことをして意味があるのだろうか、効果がないからやめてしまおうかと考えてしまいます。効果がなければやめるという判断は、合理的なようですが、そうした判断をするときは大抵、落ち込んでいるときです。やめる理由を探しているときです。意味について考えなければ、淡々と続けることができます。そうやって私は続けてきたように思います。

前述した生徒の話も、続けてきたことで言ってもらえた話であったと思います。以前の学校での話ですが、不登校の生徒の保護者の方から「校長先生のおたよりをいつも楽しんでいます」と言われました。「校長先生のおたよりは学校の様子、生徒の様子がほとんどなく(笑)、いろんな生き方や考え方の話が多いので、プレッシャーなく親子で読んでいます」と言ってもらいました。これもそういうことだと思っています。

今回の話は、「何事も意味を考えるな」という話ではありません。意味を考えて、目標を立てて、その方策を考え、実行する、うまくいかなかったら、方策を改善して、また実行する、そういう積み重ねで、人は成長します。そういう点で、意味を考えることは、とても重要なことです。それが、常識的なのかもしれません。しかし、今回、私が言いたいのは、「意味を考えることはとても重要なことだけれども、意味を考えないでやってみるという選択肢もあるよ」ということです。「無理かな？無駄かな？」と考えるよりもやってみよう。その無理や無駄というものが長い人生で生きてくるから。